

## 「いたばし学び支援プラン2021」の策定における中間のまとめについて

子どもたちがこれからの社会で活躍できる人材となるよう育み、また、地域と共に学び合う生涯学習環境を整備するため、平成31年度から3年間のステップアッププログラムとなる「いたばし学び支援プラン2021」を策定し、効果的な事業を展開していく。

### 1 計画の構成

#### (1) 第1章 計画の基本的な考え方（本編P1～5）

本計画は、教育基本法第17条に定める基本計画に相当し、かつ、「いたばしNo.1実現プラン2021」とも緊密に連動するように策定し、「板橋区教育ビジョン2025」の実現に取り組むものである。

また、「板橋区次世代育成推進行動計画 いたばし子ども未来応援宣言2025」等、他の個別事業計画との整合を図りながら、新しい事業の展開や困難な課題へ集中的・計画的に対応していく。

#### (2) 第2章 計画の策定にあたって（本編P6～19）

##### ①「いたばし学び支援プラン2018」の取組と成果

「いたばし学び支援プラン2018」の取組と成果を「板橋区教育ビジョン2025」における9つの重点施策ごとに検証し、一定の効果を上げたものや新たな取組を必要とするものを示している。

##### ②社会の動向とこれからの教育

社会の動向に着目し、

○「急激な変化が予測される社会」を生き抜くために「必要な力」や、その力を育むための「教育の役割」について示している。

○このような社会の変化を背景に改訂された「学習指導要領」について、変化するこれからの学校教育について示している。

○全国的に課題となっている「子どもの貧困」や「教員の働き方」について、課題解決に向けた取組の必要性や重要性について示している。

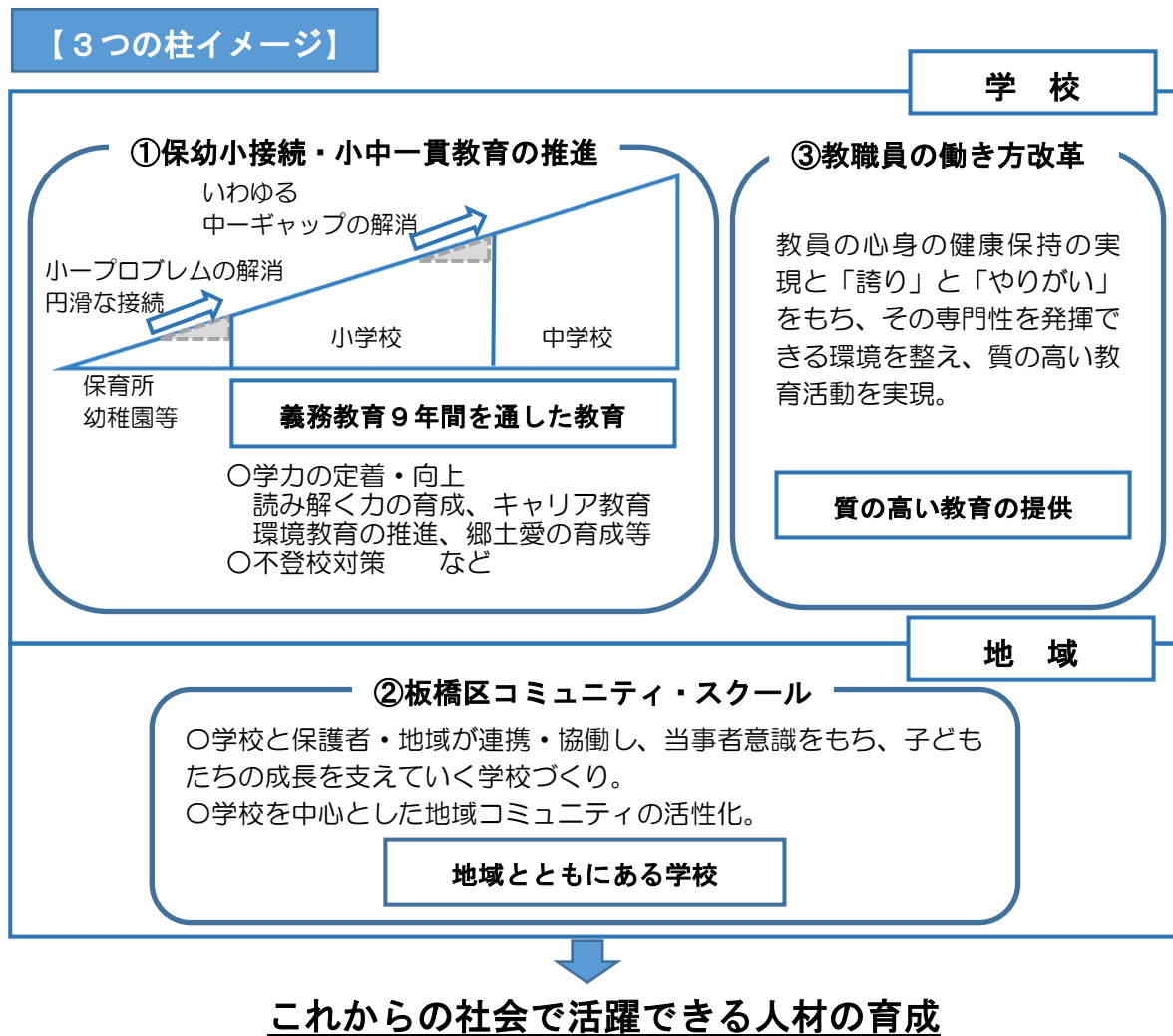
##### ③板橋区の現状とめざすべき方向

社会の変化や学習指導要領の改訂等に加え、板橋区を取り巻く状況を考慮し、より効果的な取組を行う必要性を示している。

### (3) 第3章 計画における取組（本編 P20～22）

「いたばし学び支援プラン 2021」では、計画期間の3年間で主に事業量に変化がある事業を「進行管理事業」とし、事業量が一定もしくは検討段階である事業を「その他事業」と位置付けている。

なお、板橋区が抱える教育課題やこれからの社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成に向け、①保幼小接続・小中一貫教育の推進、②板橋区コミュニティ・スクールの導入、③教職員の働き方改革の働き方改革を3つの柱として、部門横断的に取り組んでいく。



## 2 今後のスケジュール（予定）

日時	会議名	備考
9月28日	文教児童委員会	中間のまとめ報告
11月7日	教育委員会	計画素案決定
12月3日	文教児童委員会	計画素案報告
12月4日	パブリックコメント募集	12月下旬までを予定
1月17日	教育委員会	原案決定
2月19日	文教児童委員会	原案報告・策定